

令和3年度 大阪府立桜塚高等学校（定時制の課程）
「第1回学校運営協議会」報告

【日 時】令和3年6月21日（月）

【方 法】新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、電話・メール等での意見聴取による開催

【出席者】学校運営協議会委員： 城下 英行、 島村 宏二、 北之坊 晋次、
永井 敏輝、 飯野 哲生、 大村 奈奈

准 校 長 ： 田中 徹

事 務 局 ： 武内 由佳（教頭）、二子石 知恵（主査）、中尾 久美（首席）

【報告・協議】

1. 委員紹介 及び 役員の決定について

准校長：本来ならば委員の互選による決定となりますが、今回は書面開催となりましたので、勝手ながら以下の通りご提案させていただきます。両名とも昨年度に引き続きとなります。つきましては、ご異議のある場合は意見書にご記入いただきますようお願いいたします。

学校運営協議会定時制部会 会 長 城下 英行 委員
副会長 永井 敏輝 委員

全委員： 異議なし

2. 令和3年度学校経営計画

B委員：校務の効率化と働き方改革の推進に関連しまして、私は、本協議会の資料も、事前に電子配付いただければ印刷物は不要です。とはいえ、印刷物をご希望の委員の方もいらっしゃるかと存じますので、今回のように事前にデータをお送りいただく際に、印刷資料希望かどうかを確認いただけるとありがたく存じます。

C委員：前准校長の計画を引き継ぎつつも数値目標に関して意欲的な数字を掲げておられることに敬意を表します。コロナの影響などで生徒さんの生活状況が劇的に変化している恐れもあることから、一人一人に寄り添った丁寧な対応が求められると思います。そのことも意識しての数値目標と感じました。一方、そのことで教職員の方々の過度な負担増加につながらないか、一層バランスをとりながら取り組む必要があると思います。この点についても働き方改革の推進の項目で意識されていることと推察いたします。教員個人での対応に任せきるのではなく、チームとして生徒さんに寄り添う体制づくりについて意識していただければと思います。その際、「チーム」は必ずしも学校内だけでなく、適時適切に外部の団体等とも連携することが大事だと思います。今後も、外部との連携、開かれた学校運営をお願いいたします。

E委員:随所で挙げられているように定時制課程には多様な背景をお持ちの生徒さんも多いため、その中でもお互いを尊重しあい、肯定感を高めていくことで、今後の社会生活においてもそれらを良い方向へとつなげていけるような学校像をめざす取り組みには大いに好感が持てます

3. 各分掌等報告「現在の状況と今後の取組み」

	現在の状況・今後の取組
教務	<p>①「カリキュラム委員会」を中心に、令和4年度からの新学習指導要領に準拠した新カリキュラム編成に取り組んでいる。生徒の実態を踏まえ、本校がめざす教育の実現に適したカリキュラムとなるよう工夫している。</p> <p>②「教科用図書選定委員会」を中心に、令和4年度使用教科用図書の選定を進めている。</p> <p>③新学習指導要領施行に向け、「知識・技能」に偏らず、生徒の多様な側面を公正に評価するため、全教科で利用可能となる成績評価システムの構築を進めている。</p> <p>④教職員のICT活用技術の向上に向けた取り組みを進めている。本校70%以上の教職員が「Google 認定教育者」の資格を取得することをめざして研修等を実施する。</p> <p>⑤新たに「情報委員会」を組織し、一人一台タブレットなどの「GIGAスクール構想」の実施に向けた準備を進めている。Googleが提供するサービスである「G work space」を利用するための準備と、端末の具体的な運用方法について検討を進めている。</p>
生活指導	<p>⑥安全で安心できる学校環境の提供を期し、生徒登校前に教室および校内施設の点検と、不使用教室以外の全ての照明の点灯を毎日交代の当番にて行なっている。</p> <p>⑦登下校時の安全確保や諸指導および生徒の動向や表情様子の観察とコミュニケーションの促進を期し、通用門前とバイク置き場に毎日交代で立ち番を配置している。</p> <p>⑧授業時間中の校内の安全確認と教室以外の場所に生徒が居た場合の対応などを任務として、毎時間2人ずつ、校舎内外の巡回当番を配置している。</p> <p>⑨大阪府自転車条例に則り、自転車保険への加入と、雨天時の「傘さし」運転の禁止およびレインコート着用を適宜呼び掛けると共に、雨天時には下足室に「レインコート掛け」を準備するなど、その環境整備と併せて積極的に啓発している。</p> <p>⑩全校集会や長期休業前の集会などを利用し、薬物乱用やSNSおよびインターネットの不適切な利用の防止を期した啓発を行なうと共に、慎重かつ用心深い行動にて、COVID19への感染防止対策も含め、自身の安全は自身で確保しようとする姿勢を身につけるよう積極的に発信している。</p> <p>⑪望ましい人間関係を構築維持できる能力の獲得を期し、あらゆる人間関係において、他者の目線に立った物事の捉え方を意識するよう呼び掛けると共に、穏当かつ適切な方法や言葉で必要十分なコミュニケーションを取ろうとする姿勢を養うべく、様々な機会を通して啓発を行なっている。</p>
自治会	<p>⑫新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、文化祭を7月実施予定だった球技大会に変更する予定。</p> <p>⑬上記のような行事変更の中でも、実施形態などすべての生徒が自分の得意や長所を発揮できる工夫を考える。</p>
保健	<p>⑭国や府からの指示に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大防止をはじめとする、校内の衛生管理に取り組んでいる。</p> <p>⑮学級担任やスクールカウンセラーと連携し、生徒の生活や心身の状況把握及びケアに努めている。</p> <p>⑯安全点検や防災訓練(6月・11月実施予定)の計画を通して、安心安全な環境作りに努めている。</p>
進路	<p>⑰ハローワークによる4年生への面接指導を下記休業中に実施する予定である。</p> <p>⑱3年生への職業適性検査を後期に実施する予定である。</p> <p>⑲2年生への適職・適学検査を前期に実施する予定である。</p>
1年	<p>⑳新入生は47名で勉強したいという意欲をとて感じる生徒</p> <p>㉑まずは「学校定着」を第1目標とし、教員の細やかな声かけや指導で卒業後を見据えた良い習慣の形成に務める</p>
2年	<p>㉒1年次の「学校への定着」から、学習習慣や協働精神の確立に向けて「遅刻をしない」「忘れ物をしない」「他人と正しく関わる」を学年目標としている。</p> <p>㉓進路指導部と協力して、「桜学」や「総合的な探究の時間」などを活用しながら、早いうちからの進路意識の醸成に努めている。</p>
3年	<p>㉔「時間の管理」「適切な感情表現」をはじめ、社会で活躍するために必要となる基礎的な力の定着に努めている。</p> <p>㉕進路指導部と連携し、HRや「総合的な探究の時間」などを活用して、生徒の特性や興味・関心を卒業後の進路に繋げられるよう指導している。</p>
4年	<p>㉖5月実施予定であった沖縄県修学旅行をいったん中止とした。</p> <p>㉗現在の不安定な社会情勢下で、進路について不安や迷いがある生徒もいる。4月に外部機関と連携して、個別面談を実施した。今後も生徒の希望を聞き出しながら、丁寧な個別指導を行う。</p>
その他	<p>㉘今年度より、0限と総合の授業で、希望者対象にコグトレ（認知強化トレーニング）を実施している。生徒の評判は良い。今後、効果検証も含め、より効果的な実践法を考えていく。</p> <p>㉙校内居場所事業は感染症対策を徹底した上で継続、生徒の漠然とした不安などについて非常によく対応してもらっており、教職員・外部機関との連携もできている。今の社会状況下での居場所の重要性をより感じている。</p> <p>㉚本校には多様な背景を持つ生徒も多いが、言語サポートや学習支援員、介助員など府の制度を大いに活用しながら外部人材と連携して進めている。より効果的な活用について検討したい。</p> <p>㉛生徒理解や授業力向上をすすめるため、「ファンリテータ研修」など効果的な教職員研修の企画・運営・実施に努める。</p>

A委員：概ね同意、賛成いたします。

⑫について

コロナ下であっても、学業と文化スポーツ活動が停滞することなく、みなさまの創意工夫で安全安心に実施していただくことを望みます。

D委員：以下のとおり

⑳について

成長の過程で、他者と適切なコミュニケーションをとる力を獲得できないまま、社会に投げ出すことにならないよう、水際のこの学び舎において、このような目標を標榜されていることに敬意を表します。

㉑㉒㉓について

SST（ソーシャルスキルトレーニング）等の方法も活用される場面があるかと思います。SST やコグトレは、発達に特性や課題がある生徒のためにあると考えられがちですが、UD（ユニバーサルデザイン）の視点で考えれば、全ての生徒にとって有益なものであると思います。このような取組がなされることを、期待感をもって見えています。

E委員：以下のとおり

③④⑤について

ICT活用の一環として、今回のコロナ渦のような非常時にも対応していけるよう、オンライン授業に関するシステムの構築や体制もより整っていくとよいと思います。

⑥⑦について

どうしても進路指導が就職へと偏りがちに思えます。相対的に卒業後は就職される生徒さんの多いことは理解しますが、進学を考えている生徒さんもより相談したりしやすいような環境づくりも期待したいです。

4. 令和4年度 教科書採択について

B委員：学習指導要領の改訂で教科書も大きく変更される年度かと存じます。お示しの観点にしたがって、生徒らの学びを促進する教科書をご採択いただければと存じます。

その他：特に異議なし

5. その他

A委員：新型コロナウイルス感染症対策におきましては、ICT 推進も含め教職員のみなさまの多大なご負担となっていることと存じます。このような中ですが、ご健康にご留意頂き、生徒のみなさんが充実した学生生活をお送りできますよう、引き続きご尽力賜りますようお願いいたします。

E委員：令和2年度の学校経営計画と比べ、生徒自身のQOL向上に伴う社会との関わり方が重視されているように感じました。コロナ渦でいろいろと難しい面も多いかとは思いますが、保護者としても協力の上、計画達成をめざしてまいります。